



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社
コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,715	8.0	326	211.2	222	115.5	146	35.2
28年3月期第1四半期	3,438	△0.1	104	3.5	103	84.1	108	195.6

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 4百万円 (△95.8%) 28年3月期第1四半期 112百万円 (305.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.86	8.81
28年3月期第1四半期	6.57	6.52

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15,042		3,490	23.2			210.30	
28年3月期	15,797		3,490	22.0			210.36	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 3,490百万円 28年3月期 3,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)	—				

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,600	8.4	300	40.7	250	29.0	100	△46.8	6.04
通期	15,800	4.3	700	△1.3	600	1.7	300	△33.5	18.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	17,014,000 株	28年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	417,016 株	28年3月期	463,016 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	16,566,863 株	28年3月期1Q	16,519,581 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
(4) 追加情報	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策などにより緩やかな回復基調にあるものの、英国のEU離脱決定による影響や中国経済を初めとする海外景気の下振れ懸念等により年初からの円高や株安が継続しており、企業業績や景況感が後退するなど先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは引続き国内の販売強化とともに生産現場の体質改善、原材料効率化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、自動車部品が引き続き堅調に推移したこと等により、売上高37億15百万円（前年同期比8.0%増）となり、損益面におきましては、営業利益3億26百万円（前年同四半期比211.2%増）、経常利益2億22百万円（前年同四半期比115.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億46百万円（前年同四半期比35.2%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

自動車部品は、熊本地震による影響は軽微に留まり引き続き好調に推移いたしております。物流産業資材は、復興関連資材は終息に向かっておりますが、その他各種資材は堅調な動きとなっております。この結果、売上高は35億27百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益は2億45百万円（前年同四半期比706.5%増）となりました。

中国成形関連事業

中国国内では、物流産業資材を中心とした売上構成となっております。当第1四半期連結累計期間は、販売不振が持続し厳しい状況で推移いたしました。この結果売上高は82百万円（前年同四半期比32.1%減）、セグメント損失1百万円（前年同四半期7百万円の損失）となりました。

不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は1億5百万円（前年同四半期は1億5百万円）、セグメント利益82百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、150億42百万円（前連結会計年度末比7億54百万円減）となりました。

流動資産は、現金預金27億13百万円（前連結会計年度末比1億30百万円減）、受取手形及び売掛金が26億22百万円（前連結会計年度末比3億85百万円減）等により71億24百万円（前連結会計年度末比5億4百万円減）となりました。

固定資産は、有形固定資産62億12百万円（前連結会計年度末比1億円減）、投資等16億42百万円（前連結会計年度末比1億52百万円減）等により79億18百万円（前連結会計年度末比2億49百万円減）となりました。

②負債

負債合計は、115億52百万円（前連結会計年度末比7億54百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金38億19百万円（前連結会計年度末比2億32百万円減）等により68億59百万円（前連結会計年度末比5億30百万円減）となりました。

固定負債は、長期借入金39億54百万円（前連結会計年度末比1億88百万円減）等により、46億93百万円（前連結会計年度末比2億24百万円減）となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の変動等により34億90百万円（前連結会計年度末34億90百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,843	2,713
受取手形及び売掛金	3,007	2,622
電子記録債権	660	778
製品	334	289
原材料	368	364
仕掛品	50	38
その他	363	319
流動資産合計	7,629	7,124
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,153	2,116
土地	2,610	2,610
その他(純額)	1,549	1,486
有形固定資産合計	6,313	6,212
無形固定資産	59	62
投資その他の資産		
投資有価証券	1,679	1,537
その他	141	131
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	1,795	1,642
固定資産合計	8,168	7,918
資産合計	15,797	15,042
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,052	3,819
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	1,596	1,485
未払法人税等	96	81
賞与引当金	179	92
その他	1,164	1,079
流動負債合計	7,389	6,859
固定負債		
長期借入金	4,143	3,954
資産除去債務	37	37
その他	736	701
固定負債合計	4,917	4,693
負債合計	12,307	11,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	1,402	1,548
自己株式	△47	△42
株主資本合計	3,461	3,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	△110
繰延ヘッジ損益	△12	△12
為替換算調整勘定	44	0
その他の包括利益累計額合計	19	△122
新株予約権	8	-
純資産合計	3,490	3,490
負債純資産合計	15,797	15,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,438	3,715
売上原価	2,837	2,876
売上総利益	601	839
販売費及び一般管理費	496	512
営業利益	104	326
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
為替差益	18	—
持分法による投資利益	4	—
商標使用料	—	2
その他	4	4
営業外収益合計	30	9
営業外費用		
支払利息	31	26
為替差損	—	72
持分法による投資損失	—	13
その他	0	0
営業外費用合計	32	113
経常利益	103	222
特別利益		
固定資産売却益	25	—
新株予約権戻入益	—	4
特別利益合計	25	4
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	128	225
法人税等	19	78
四半期純利益	108	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	108	146

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	108	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△97
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△0	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△34
その他の包括利益合計	3	△142
四半期包括利益	112	4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112	4
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,211	121	105	3,438	—	3,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	20	—	20	△20	—
計	3,211	142	105	3,459	△20	3,438
セグメント利益又は損失(△)	30	△7	81	104	—	104

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去20百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,527	82	105	3,715	—	3,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	—	3	△3	—
計	3,527	86	105	3,719	△3	3,715
セグメント利益又は損失(△)	245	△1	82	326	—	326

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去3百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。